

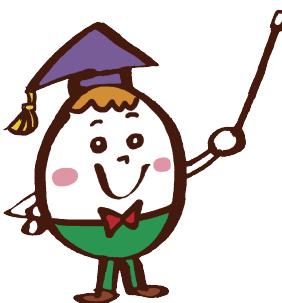
日の丸のお話

国旗の重み

日本ってすごい！ みんな日本人として誇りを持とうよ！！



昔は祝日には国旗を必ず揚げていたけど、今はほとんど見掛られなくなっちゃった・・・。青空に映える日の丸ってすごく綺麗なんだけど、どの家も揚げなくなっちゃった。うちだけ揚げるのもねえ。でも日の丸ってそもそもどんな意味があるのかなあ？



じゃあまずは日の丸の歴史から紐解いていこう。
まず日の丸の正式名称は、日章旗といいます。この日章旗は戦前の日本の象徴であり戦犯旗であるかのようにいう人達がいるけどどんでもない話です。学校でも国旗や国歌を否定する教師がいますが、とても残念な事です。ぜひそのように思っている方は、このチラシを読んで頂きたいものです。

日章旗の登場はなんと飛鳥時代！

日章旗が記録として登場するのは、大宝元年（701年）の正月元旦の朝賀の儀に「日像の旗」を掲げたと平安時代初期に編纂された「続日本紀」に記述があります。つまり飛鳥時代にこの日章旗が登場し、それまで1300年以上の時を経て今に繙がれて来ているのです。それだけこの旗を我々の祖先たちが大事に大事に次の世代へと伝えて來たんですから、今を生きる私たちも堂々と誇りをもってこの日章旗を掲げればよいのです。また現存する最古の日章旗としては、後冷泉天皇より源義光へ下賜された日の丸の旗があります。これは甲斐源氏宗家の家宝として今に伝えられているものです。これだけ古い歴史を持った国旗なんて聞いたことがないでしょう。それだけ大切にされてきたのです。

そもそも日の丸ってどんな意味が込められているのかな？



まず日章旗の赤丸は太陽を表しています。太陽は四海を照らし、光は均等に一直線に降り注ぎます。赤は赤心（せきしん）といって、嘘偽りのない誠実な心（まごころ）を意味します。

そして丸は（輪=和）を表し、日本の別名とも言われる「大和」がそれにあたります。

またベースの白地は汚れなき心・純粋な心を表します。

これらの意味から、「穢れのない真っ直ぐで純真な心と、大きな和の心を持って世界を照らす。」そんな意味がこの日章旗には込められているんです。

純粋で平和を象徴する日章旗！

このように日章旗の持つ歴史や込められた意味が分かってくると、日章旗に対する見方が変わってくるでしょう。この国旗をどれだけの人達が時代を経て今に伝えて来たか？ 平和を象徴するこの国旗を、国民みんなで祝日に掲げて、世の中の平和を願いたいものです。



たまご博士、教えてくれてありがとう！
私も子供たちにもしっかりと教えて日章旗の素晴らしさを伝えていくよ。

ぜひぜひそうして下さいな！

みんなで

祝祭日には国旗を掲げましょう！

